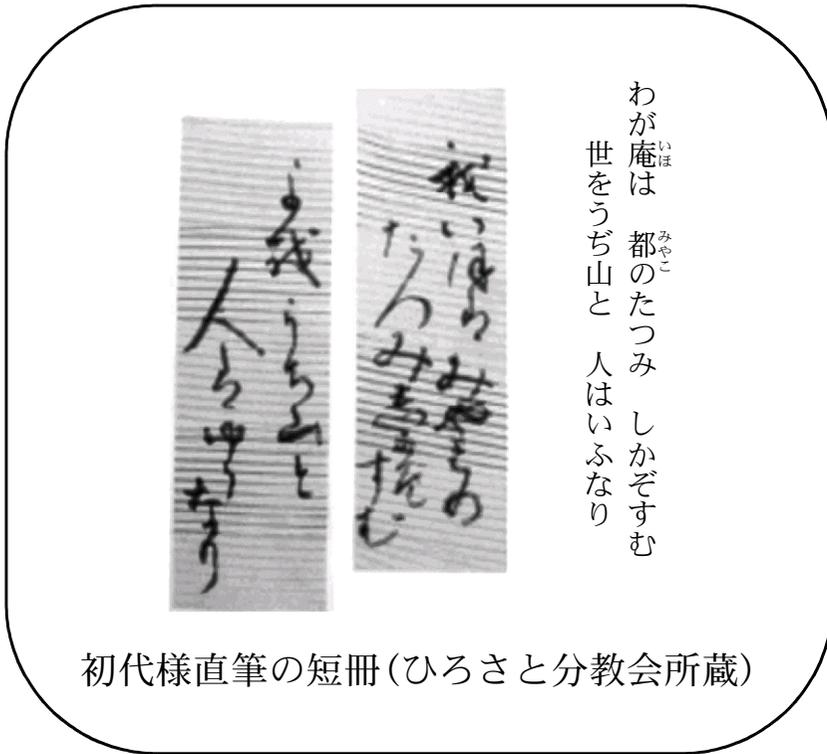


発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



をやの思いをにをいかけ、

内治に心を配り おたすけに誠の心を尽くそう

1. 一歩前進 百万軒
2. おつとめの徹底とひのきしん
3. 機を逃さず おさづけの取次

# 学生生徒修養会 高校の部

さる8月9日から15日まで、おちばで「立教167年学生生徒修養会・高校の部」が開催され、全国から1677名、笠岡から14名(男子7名、女子7名)の学生が受講しました。

開催前日の「係員結団式」にご臨席された真柱様は「受講生が親神様の思召、教祖の教えを少しでも分かるように、布教の心で、与えられた役目を一所懸命、精一杯、心揃えてつとめ、(学生が)来てよかったと思って帰ってくださるように」とお言葉を下されました。  
笠岡から参加した学生の「感想文」を掲載させていただきます。

### ○1回生男子

いろんな仲間と出会って楽しかった。日本中に友達が出来た。感動した。夏一番の思い出になった。来年も行こうぞー。

### ○1回生女子

最初は不安だったけどすぐ友達もできて、最終日は帰りたくないって思った。みんなすごい人ばかりだったので良かった。来年

も行けたらいいなー。

### ○1回生女子

朝4時35分起きがしんどかった。ケド楽しかった。友ダチいっぱいできました。

### ○2回生女子

昨年と違った楽しさがたくさんあった。沖縄から来た人もいて、いろんな所へ友達が出て嬉しかった。たくさん問題もあったけど、その度みんな話して合って解決したりして、とても良い体験が出来た。

### ○3回生男子

3回生は今までの1、2回生とは違い、人数も男女合わせて10人。レクチャーも「教典」中心で、おてふりの練習、メインイベントは12下りと少しおカタイ印象がありました。が非常に密度の濃い一週間でした。皆と一緒に歌ったり、騒いだり、踊ったりしました。でも楽しいことばかりなくて、シリアスな面が多いのも3回生でした。けっこう皆悩みや身上を抱えてたりしました。過呼吸の子がいたりして、シリアスな話をするときはハラハラしました。でもそんな話をする事で皆が互いにわかり合うことができ、さらに絆が深まりました。その分、別れは辛かったけど、

再会出来ることを信じてこれからの日々を頑張っていこうと思います。ありがとう学修。もっと頑張ります。学修サイコー!!

★陶山…1名、東城…1名、湯田原…1名、神昭…2名、美之郷…1名、芦品…1名、稲倉…2名、西伯…1名、川島郷…3名、吉舎…1名。

(学生担当委員長 吉岡 誠一郎)



## 実践項目集計 (7月)

百万軒にをいがけ	61,097軒
おさづけのお取次	4,697回
身上事情お願い	791件
提出教会	119ヶ所

# 第10回 少年会 野外錬成会 & 青年会 新入会員 研修会



少年会笠岡団(中島誠治団長)では、八月二十二日から二十四日(二泊三日)の日程で島根県浜田市の石見海浜公園キャンプ場で、第十回サマーキャンプを開催しました。

開催に際し当初、台風の接近が心配され又、学校の登校日と重なる等で、参加人数が心配されましたが、少年会員十一名、カウンセラー六名、スタッフ十五名と総勢三十二名の方が参加下さいました。

出発に当り大教会長様より「私達は自然の中で生かされ、自然に護られている事を勉強して頂きたい」とお言葉を頂き、天災地変の頻発する昨今、自然に対する感謝の気持ちから薄らいできた私達への、親神様からの警告である事を再確認させて頂き、



心引きしめて出発させて頂きました。

今回のキャンプは、青年会、女子青年のスタッフの協力を頂き、大学生、高校生のカウンセラーも充実し、キャンパス一人くくりに目の行き届いたキャンプをさせて頂く事が出来たように思います。

「危険な状態になったら、すぐに引き返して来る様に」と出発前、大教会長様も御心配下さいました天候でしたが、途中雨が降ったり

風が吹いたり、急遽スケジュールを変更する事もありましたが、貴重な体験をさせて頂きながら、料理コンテスト、海水浴、お楽しみ行事、焼杉クラフトなど全日程を無事つとめさせて頂く事が出来ました。

開催に当りましては、大勢の皆様方のお力添えを賜りました事を心から御礼申し上げます。

(少年会副団長 北川 治史)



## 楽しかったキャンプ

稲倉分教会 小五 北川 真生

八月二十二日から二十四日にかけて、島根県浜田市のキャンプ場に行きました。

お姉ちゃんが、前キャンプに行って浜田の海のことや、水族館のアクアスのことをいろいろ話してくれていたの、ウキウキしていました。

行くときに、二モのDVDを見ました。そして、友達とおかしを食べながら行きました。楽しかったの、1回もねませんでした。着くまで、3時間もかかりました。

島根に着いたらすぐに、荷物を運びました。いろいろ運んでいると、島根の人も来ました。ぜんぜん知らない人でも、すぐ仲良くなれました。

夕ご飯は、ビーフカレーでした。班のみんなといっしょに作りました。作るのは、楽しかったけど、ビーフカレーは水を入れすぎて、さらさらになりました。ご飯は水が少なすぎて、かたくこげてしまいました。でも、みんなで作ったビーフカレーとご飯はともおいしかったです。片づけもみんなでした。ご飯がこげてしまったので、片づけはとても大変でした。

そしておつとめの後、夜のつどいで一番にがてなスピーチにあたってしまいました。ご飯の準備の時に、友達とスピーチの練習をしていたからかなあと思いました。ドキドキしたけれど、練習していたのでなんとかしゃべれました。

その後は、お楽しみ行事でナイトウォークをし

ました。真っ暗の中を歩いたけど、七人で歩いたのでこわくありませんでした。雨がふりそうになったので、テントは中止になってログハウスでねることになりました。去年のキャンプで、テントでねて虫が入ってきたので、今年は安心してねることができました。

そして二日目の朝、とても早く目が覚めました。雨はふっていないだったので、みんなで海岸のゴミ拾いをして、朝ご飯をまたみんなで作りました。二日目はうまくできたので、おいしかったです。

その後はまちにまった、海に入ることができました。係の先生がおもしろかったので、とても楽しかったです。昼からは大雨になったので、海水浴は中止になって、焼き板作りをしました。初めてしたけど上手にできたので、私の部屋にかざっています。

夕ご飯は料理コンテストで私たちは、ハンバーグを作りました。味の点数は一番で、みんな食べたいと言ってきたので、少しあげました。

最後の日は雨が今にも降りそうだったので、早く帰る準備をして、水族館のアクアスへ行きました。白イルカのショーを見ました。

今年のキャンプに参加して、いろいろ大変な事もあったけど、楽しいことがいっぱいあったのでまた来年も参加しようと思います。

## 祝・笠岡人間になる

神昭分教会 渡部 理奈

七月半ば、島根の余村君からキャンプにスタッフとしての参加のお誘いがありました。楽しそうだとお思ったのですが、私は笠岡の行事に一度も参加した事がなかったので最初は迷いました。しかし、余村君も参加すると言うので、笠岡に繋がる良い機会だと思い、私も参加させてもらうことにしました。

キャンプ当日、大教会に集合して、早速友達ゲットです!! 会長さんが同じ教会から参加の女子とスタッフの女の子を紹介してくれました。二人ともすぐに仲良くなれました。少年会の先生たちも、怖い人だったら…と心配していましたが、どの先生もすごくいい人で、面白くて安心しました。

キャンプが始まり、私は本部スタッフにあたりました。私は子どもが大好きなのですが、直接子どもと関わるカウンセラーじゃなかったので内心あんまりノリ気じゃありませんでした。今だから言えることですけど(笑)。私の仕事は主に本部班の先生たちの食事作りでした。初日は先生たち十七人分のカレー、二日目は朝にみそ汁と昼には参加者全員分のおにぎりと焼きそば。三日目はすい

ません、サボりました(笑)。食事作りも楽しかったです。

二日目は朝から海水浴でした。私はカメラ係に任命され、ジャージを捲り上げて足だけ海に浸けて撮っていました。しかし、波が結構高くてジャージがびちょびちょに濡れてしまい、あまりにもみんなが気持ち良さそうだったので、開き直って服を着たまま海に入りました。人生初の日本海は最高でした!!

夕方、子供たちは班ごとに別れて料理コンテストの料理を作り始めました。どの班もみんな上手に作っていて、めちゃくちゃ美味しかったです。が大変なのはその後でした。みんな作りすぎ!! 残った物は本部班が食べていたのですが、先生たちは私が大食いだと勘違いしたみたいで(笑)、やたらいろんな物を持ってきてくれて、しかも私は全部食べて、おかげで本部班の夕食のバーベキューはほとんど食べませんでした(笑)。でも、どれも全部美味しかったです。みんなごちそうさまでした。ありがとう!!

最終日は水族館に行きました。久しぶりで、白イルカのショーも見れたし、みんな楽しそうだったので良かったです。

分かってくれたと思いますが、三日間本当に楽しかったです! 雨が降って、雨宿りの場所を求めて走り回ったり、どろだらけになったりしたけ

ど、自然の中で生活してると感じて逆に良かったと思います。子どもたちとも仲良くなれたし。誘ってくれた余村くん感謝です! そして、お世話して下さった先生方、本当にありがとうございます!! これからも積極的に笠岡に繋がっていききたいと思います!!



## 子供達の笑顔に支えられて

新山邑分教会 三島 知佳子

8月22日から24日まで、私達は島根県にある石見海浜公園に行ってきました。その頃島根には台風が接近していて、いったいどんなキャンプになるのか、不安な気持ちも抱えつつ22日朝、大教会を元気に出発しました。しかしキャンプ場に到着したらやっぱりくもり空。着いたらまず今夜自分達が寝るテントを立てるはずも強風のため中止。しかし気を取り直して夕食のカレーを班ごとで作り、みんなでおいしく食べました。

2日目はカンカン照りとはいかないけど、晴れのご守護を頂いて、みんなでおもいきり海水浴を楽しみました。日本海は遠浅ですごくきれいな海でした。波も大きくて、海水が鼻に入って泣いている子や、おぼれているんじゃないかと周りをヒヤヒヤさせるバタフライをしている人とか、砂にうもれている人とか、いろんな人がいて本当におもしろかったです。でもお昼からはお天気も崩れてしまい、結局2泊3日のうち泳げたのはこの2日目の午前中だけでした。この後は焼き板をしたり、料理コンテストをしたり、最終日には撤収をして水族館に行ったりと、本当に盛りだくさんの楽しいキャンプでした。

## The 62nd ENGLISH SEMINAR



期間中、雨が降っても子供達が退屈しないようにと、色々なプログラムを考えたりもしていました。でも子供達は雨なんてものともせず、濡れるのなんておかまいなしに自分達の見つけためずらしい虫に夢中になっていたり、ボールひとつでずっと遊んでいたりと、私達大人が与えたプログラムより、ずっと楽しそうにしていました。出発前に育成会長様は「自然の力とは恐ろしい

ものです。でも安全にルールを守れば、私達に色々なものを与えてくれます。」と教えて下さいました。周りの人から見れば、雨ばかり降って大変だったねえ。と言われるかもしれませんが、子供達のとてつもないパワーと笑顔のおかげで、親神様のご守護をいっぱい感じることできたよろこびいっぱい最高のキャンプとなりました。本当にありがとうございました。

8月22日から24日までの2泊3日間、英語講習会を開催させていただきました。

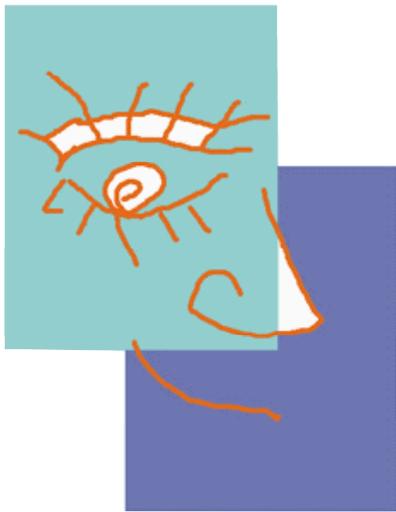
今回も昨年同様にTLE(天理教語学院)からアンディ富澤氏を講師に迎え、短期間ながら中身の濃い充実した講習会だったように思います。参加者数は、受講生13名、係員12名でした。

今回の英語講習会で特に印象的だったのは、講師のアンディ先生に講話をしていただいたことです。先生はアメリカのロサンゼルスで天理教布教師の子供として生まれながらも荒れていた少年時代のことや、無理やり入学させられた親里高校留学中に、6人いたロス時代の悪友のうち二人が射殺され、4人が刑務所に入ったことなどを赤裸々に語られました。そして、おちばで、教祖のお膝元で、温かい空気に包まれ、世界助けのよふぼくとして生まれ変わって行った様子を、受講生達に

ユーモアを交えながら伝えて下さり、私たち係員も大変感動いたしました。講話は日本語でされましたので、もっと大勢の人に聞いていただきたかったと痛感しました。  
では、参加者2名の感想文を御紹介いたします。尚、名前は講習会中に使ったニックネームです。

ステファン(19才、女子・福音)  
(1)レッスンについて

学校より実践的な英語が習えると思いましたが。初対面の人と話すときの自己紹介は特に大切だと思いました。また、各自で考えた自己紹介を食事の後やゲームなどほとんど使うことが良かったです。パソコンをレッスンに使用しましたが、自分の発音が



正確にチェックできて良かったです。生徒も楽しそうでした。講師のアンディは日本語もペラペラだったので、緊張せず、話しやすかったです。  
(2)ひのきしんやおつとめは、まじめにできましたか。

(3)講話、ビデオ(岡山教区の真実 届く・インド、カルカタ)はどうでしたか。

アメリカでの生活、海外の人から見る日本の印象を聞いたのが良かったです。ビデオでは、とても貧しい生活なのに、子供たちがみんな笑顔だったのが心に残りました。

(4)社会見学(倉敷ライフパーク、瀬戸大橋)、ゲーム、映画(タイムライン)はどうでしたか。

全員での英語ゲームは、とても楽しかったです。映画はつい見入ってしまいました。夜食に出していただいた手作りピザは最高においしかったです。

(5)この講習会に希望することがあれば書いてください。

スタッフの方々にも本当によくしていただき、受講した女の子たちとも仲良くなれ、英語も習えるとても良い講習会に参加させて

ていただきました。もっと多くの学生にも知ってもらいたいと思いました。本当にありがとうございました。





リコ (中2、女子・直轄)  
(1) レッスンについて

少し分からなかった所があったけど、ていねいに教えてくれたのでよかったです。ゲームもいろいろやって楽しかったです。同じグループに2年生は私だけで、後は3年の人ばかりだったけど、英語のゲームで

勝ててとてもうれしかったです。

発音は、たくさんダメな所があったので、やっぱり発音のしかたがちがうんだなと思いました。パソコンでもいろんなゲームができて楽しかったです。でも、最後の結果がグループの中で2位だったので、少しくやさかったです。講師のアンディはとても話しやすかったし、ゲームも楽しかったです。また、来年も来てほしいなと思いました。

(2) ひのきしんやおつとめは、まじめにできましたか。

ひのきしんでは、部屋を掃除したり、ろうかをモップがけしたりできてうれしかったです。

おつとめは、まじめにできたので良かったです。

(3) 講話、ビデオ(岡山教区の真実 届くインド、カルカタ)はどうでしたか。

アンディの講話を聞いて、アンディは昔はこんな人だったんだなあと思いました。が、今の姿を見ると、昔がそんなふうだったとは信じられません。ビデオはインドの方に洋服を持って行ってあげている話で、世界にはもっと助けを必要としている人がいるんだなと思いました。

(4) 社会見学(倉敷ライフパーク、瀬戸大橋)、ゲーム、映画(タイムライン)はどうでしたか。

ライフパークでは、全周天映画の「タイムニック号の秘密」を見ました。画面が縦に動いたり、横に動いたり、上下に動いたりしたときは、すごくきもちわるかったです。でも、本物のタイムニック号がしずんだあとが見れてよかったです。みんななどのゲームはとても楽しかったです。

(5) この講習会に希望することがあれば書いてください。

もう少し、女性の方が多くても良いかなと思いました。

以上、よくお分かりいただけるように少しだけ加筆しましたが、ほぼ原文のままです。

講習会期間中は、大教会長様を初め、奥様、前奥様、役員先生、御婦人方、青年さん、教会内の皆様方には、暑い中大変お世話になりました。ありがとうございました。

(海外部員 香取 雅人)



# 青年会

## 全分会 布教推進週間

去る八月二十九日より九月五日迄、毎年恒例の全分会布教推進週間として各ブロック、各教会において布教を啓蒙する活動が展開されました。

福山ブロックでは、期間中毎日午後七時より福山駅にて神名流し、路傍講演が行われました。高屋ブロックは、毎年恒例になっている、老人ホームきのこ荘での清掃ひのきしんを行い、その後はブロック内の親睦会としてバーベキューをして皆が語り合いました。島根ブロックでは、亀田山分教会に皆が集合して神名流しに汗を流しました。久松ブロックは、教会の祭典前夜に集合してパンフレットを配

布し、その後教会に戻って親睦会を開きました。上下

ブロックでも、日曜日の朝に集合してパンフレットを配布しました。府中

市ブロックでは府中市分教会に

集合して、教会周辺で神名を流しました。直轄ブロックは、笠岡駅周



(青年会委員長 佐藤 真 孝)

辺での清掃ひのきしん、神名流し等を予定しておりましたが、台風十六号で岡山県沿岸部が高潮の被害に遭い、災救援の応援という形に急遽変更しました。

また、キャラバン隊を編成して輝美濃、天理、明石市を周って会員さん方と共に活動し、親睦を深めました。

全分会布教推進週間は教祖百年祭後の青年会活動の主軸として行われるようになった様ですが、二十年前はともかく現在の一般会員さんには、この活動の主旨を理解して参加していただくにはいささか困難なのではと感じております。笠岡分会としましては、青年会本部からの打ち出しを出来るだけ忠実に実行することを心掛け、尚かつ諸教会の実状にそぐうような活動になるよう努力してまいりました。しかし、まだまだ改良の余地は残

されており

ます。この布

教推進に限らず、

ご意見ご感想をいた

だき、真に意義のある

会活動にしていきたいと

思いますので、ご指導、ご

鞭撻下さいますようお願い申

し上げます。

## 青年会キャラバン隊

今月の末には「全教一斉にをいがけデー」もありますが、それに合わせて今月は、にをいがけ強調月間として定められています。その先陣を切って青年会では、布教推進週間を設けさせて頂き、全国各地で若きあらしきとうりょうが神名を流しその中で笠岡分会では八月二十九日より三日間キャラバン隊を出動し、岐阜市、奈良市、明石市と神名流し、路傍公演、戸別訪問、パンフレット配布に清々しい汗を流しました。

二十九日のにをいがけ・おたすけ実修会要員研修会を終えた後、先ず岐阜市へ向けて出発して、着くまでの間車中では路傍公演等の話で熱く語り合っているうちに夜七時頃に岐阜市へ着いて、輝美濃分会委員長の谷内秀自氏を先頭に駅周辺より繁華街へ神名を流し、又車中で熱く語り合った路傍公演を人通りの多い所でさせて頂き、岐阜での布教を終えさせて頂きました。その後、輝美濃分会会長様より親心を頂き教会で宿泊させて頂きました。夜には親睦を深めたその中で弟の幸司氏より明日の仕事を休んでまで奈良での布教に参加したいと申し出てくれて、キャラバン隊一同胸を熱くし、明日への思いを深めました。

早朝よりおちばへ向かい詰所にて学生会員五名

と合流してJR奈良駅へと向かいました。近鉄奈良駅まで神名を流し、その場所で路傍公演を先ず委員がし、その後学生さんにマイクを譲りパンフレットを配っているうちに、ふと学生さんに目を向けるとマイクを外して地声で一生懸命路傍公演をして下さっていました。私達委員はその姿を見て尚一層パンフレット配りに力が入りました。熱が冷めやらぬうちに戸別訪問へ移り、内心学生さんには戸別訪問への不満が出てくるかと心配していましたが、それとは裏腹に学生さん自ら積極的に勇んで戸別訪問をして下さいました。

その学生さんの勇み心を引き継いで明石市へと車を走らせました。丁度台風一六号が接近しており、到着した時には強風となっていました。明石市分会委員長の杉原善郎氏を先頭に住宅街近くまで神名を流しパンフレット配りをさせて頂き、又明石市分教会まで神名を流し、明石市での布教を終えさせて頂き、キャラバン隊の全日程を終えさせて頂きました。

このキャラバン隊の全日程を通し思っていた以上の成果を頂き帰ってからキャラバン隊に参加できなかった方と喜びをわかち合いました。

学生さんのもとより、各教会長様には多大なるお力添えを頂き誠に有り難うございました。

(青年会副委員長 浅野明教)

## 「布教推進週間」

皆さんは布教推進週間という青年会の行事をご存じでしょうか？ 毎年9月の第一週目前後に各分会青年会で布教活動を挙げて行うあれである。たとえば不揃いの服装で南無天理王命と書いてある紫のノボリを上げて拡声器を用いて決して聞いていて心地良くは無い歌声を町中に響かせて練り歩くアレである。一年にたった一度だけ。青年会の委員をさせて頂いてるので毎年いろんな町へ行って声を張り上げていますが、いざ自分の町に一人でしょうものなら、、、と言うか一人では絶対に出来ないような怪しい行事です。

毎年こんな怪しいことをするのに、何故か熱心な若者が参加してくれます。何が良くて参加するのか分かりませんが、この行事を通して参加者は何かをえているようです。それが何かは、、、分かりませんが、、、しかし今、この行事を進めるうえで現実的な話として全分会に浸透していないという事があります。信仰的に成人の度合いが違いう以前に、いろんな考えの人がいますから。こういう事が苦手な人、一体こんな事をして意味があるのか？ みっともないマネはいっそ止めたなら良いのに、逆効果では？ と思っている人もいます。また教会としても青年会の存在が無い教会は沢山



あります。布教の場で成果は求められませんが、自己満足の世界では無いだろうかと思うこともあります。しかも今、各会や横との連携を取ってと言っているのに、今月末の全教一斉にをいかけデーとの関連はほとんどありません。かといって私は何もしていませんが、、、

話は変わりますが、私たちのブロックでは青年会の委員長交替の総会をこの春に執り行い、心機一転、新委員長の下、先輩先生方の期待を受けながら、会活動の充実を目指して微力ながら邁進して参りました。交代後初の布教推進週間に向けて、例会でこの行事の計画を呼びかけをして来ましたが、ブロック行事として5日に夕方集合して神



名流しをし、その後懇親会をさせて頂きました。貴重な時間を裂いて参加して下さい、約10名の会員の皆様ご苦勞様でした。書面では失礼ながら、この場で門脇裕教新委員長に代わり御勞い申し上げます。これから益々関わり通して若い人のにぎやかな盛り上がりを作り上げて行きたいと思えます。

青年会員はあらかじょうりょうとして教えを押し広める役目があります。こういう行事を通して互いを切磋琢磨して成人させて頂き、いつかたすけの現場でお使い頂ける人材とならせて頂きましょう。  
(青年会委員 本多正悟)

# 談話室



## 「ごどもおぢばがえりを振り返って

品治分教会長 渡邊眞次

第五十一回ごどもおぢばがえりも、無事に終了。昭和三十七年から、途中身上で三回休んだので、今年で三九回参加させて頂いたこととなります。縦の伝導部員の時、当時は、列車でしたので、大教会として全体をまとめていた。一番大きい団体は千五百人位の、お世話を部員一同でつとめさせて頂いた事もあった。当時は迷子が多く、他の教会の子は全々解らないのに、「迷子になったのでさがして下さい。」とか、福山の駅で三〇秒の停車時間に降り遅れて、松永の駅迄一人行ったこともある。引率者として、福山迄帰ったのに、事情を話すことのつらさも味合った。

一人でも多くと徐々に二十人四十人と殖えて来た。子供団参加だけが賑やかだったので、批判された事もあったけど、「三十万人達成を」の音が掛ったのもその頃でした。何でもい頑張ろう。募集は、自転車や洗濯物を見、表札に名前が多い家へ

声をかけ、効率良く廻った。学校帰りの子にチラシを配ったり、お切りが来ても来年の事考へて歩いた。子供は一人出来ると、友達が出て三人になったりする。一人決まれば三回も四回も、その家へ運び又済んだ後も、一通り運ぶ、末っ子が教壇へ立って募集してくれたら、六八名出た時等、大人は大変しんどい、しかし子供の喜ぶ姿に救われる。疲れはあるが喜びの方が勝っている。学校の先生をしている子供を、お連れした時、「大勢良くお世話が出来ますね、私達は修学旅行で生徒を連れて行くと、帰って三日位寝ます。」と言われた。おぢばへ帰るのは、親神様が守って下さるとの信念から、何十年も、お連れ通り頂いて来ました。最近では自動車が多く、個々の団参となった。迷子、落し物忘れもの、身上になると、来年から出ないのが普通、その点細心の注意が必要です。今年、四年生の孫が六人、二年の女の子が一人誘い、新しい子が殖えた。その子達が「来年も行く」と帰ってすぐ親に、言ったそうです。「天理に住みたい。」とも言った子がいた。パレードは毎年心踊る思いですが、初めての子に「パレードがあるよ」と前宣伝していたが、ちょうど台風であきらめていた。詰所のロビーで口惜しい思いを話していたら、「パレードあるよ」神村会長さんから聞いて、「それ急げ」と、パレードへ出発した。その喜びは子供の顔で解る。久松として百五

十名位出た事もあった。

小学一年から中学三年迄出た子の中に、「私達が友達を誘うから、鼓笛をして。」と、今考へると勿体ないことをしたと思う。単一教会では費用の事と、指導者がいない、私は相当な音痴で自信はなかった。例年通りしこみ、伏せ込みに重点をおき、お楽しみ行事と、帰りは大阪自然博物館見学、少年ひのきしん隊に自ら参加してくれた事も、嬉しい事の一つでした。

今年も無事帰って、タスキを干しているのを見て、安心と喜びを感じる。熱の冷めない間に、おとまり会をすませました。

最後になりましたが、毎年尊いおちばの親心を頂き、誠に有難うございます。又関係する皆様様の、心強いお力添えに心から、お礼申し上げます。

## 私の若い頃の信仰

呉福分教会長 佐藤 昌平

早く書かねばと思い乍らテレビを見る。台風十六号が襲来する様子が、テレビで放映される、其の地球の姿は小さいが、とても美しく感じた。地球の中はどうなってるかと考へる、中身はマグマ、火山爆発で地震が起きる、津波が発生して世上が混乱する、永い歴史を知る限り人間は天災と人災

で苦勞に耐えて生かされている不思議な世界だと思案する一時である。

其の世上に生を受け、昭和十八年四月大東亜戦争終わりに近い頃、東京神宮で学徒動員がありお国の為に勇んだ姿が浮かぶ其の頃、飛行機作ってくれと云われて私もお国の為に飛行機の生産に従事致しました。昭和二十年四月東京大空襲と共に、「B29」の大梯団の襲来に依り工場は壊滅となり終戦を迎える。

昭和二十一年九州の砒山え就職、石炭生産に従事。戦後の日本復興は石炭から有る事は事実である。地下に眠る石炭は三尺層と六尺層が見事な黒ダイヤである。現時代は石油に変わった資源も有難く感謝致すのですが、其の石炭生産に従事して、三年目に胸の痛みにと心が震り、病院でレントゲン撮って頂く。やはり肺結核であった。ショックである。当時、葉もなく、只々心の世界を進む外はない時代で、藁をも掴む思いであった。贅沢病と云っても、食べる物に事欠く時代で仕方なく「働かざるは喰ふべからず」で配給もわずかであるから、山野を歩いて食べる物を探していたものである。

其の頃に天理教の布教師に出会いました。「貴男は息づかいが悪いようだが身上なら私の所えおいでなさい、拜んで『てをどり』を修養する事に依り直りますよ」と、云ふ事に引付られて尋ねて

見た。色々のお話の中に感じたための教え、おつとめの理、心定めが第一や、人をたすけて我身たすかるは神様の至上命令であると思案する。

我身は葉のない病気である事に気付いたのである。「先生。葉を呑んでいない私は拜むだけではたすかりませんので、何か私の出来る事はありますか」と、お願い致しました。「そんなに云ふなら、布教所に今事情が一つ有るが、解決する為の保証人になってくれ」と。私は心良くお受け致しました。先生はとても喜んで下さいました。信仰するに当り、御守護を頂く上に心定めが第一やと申される心定めを致しました。一つは三年の住込みひのきしんと、日々が生涯の心に徹して、将来教会設立を目標として成人の為に先生ににをいがけ実修に同道して御指導の道のりを頂きました。

当時の結核患者さんは家で療養されている人が多かった様に思います。先生の神様のお話・おさづけのとりつきに心勇んで来る人、先生もっと早く神様の話を聞きたかったと云われる人、出直しの話に明かるい顔になる人、今も其の顔は忘れられません。

昭和三十年十月二十七日おさづけ拝戴。

しんぢつにたすけ一ぢよの心なら  
なにゆへいでもしかとうけとる



▼養徳社発行『陽気』誌九月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「達」、撰五十七句中、笠岡に繋がる教友の方二名、二句が見事撰ばれ掲載されていきましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

准秀詠 芳阪布教所長夫人 まこと杉原 優子

おたすけの 達人曰く 真実のみ

新友 芦方布教所長子弟 金谷 眞佐代

ありがたや道の先達 あればこそ

▼呉市・東濱十三雄さん(福順分教会長)よりの寄稿です。

病喜録のうた

あちこちで異常気象が続いてる  
なぜか地球も病んでいるのか

始まったアテネ五輪の水しぶき

観てるまに〜 元氣頂き

透きとおる空を見上げてつくぐくと

己が心の狭さ思える

▼油木町・黒瀬修式さん(油木分教会長)よりの寄稿です。

川柳夏の思い出

やせ我慢すれども我が先にばて

蜂させどふくらむ腕の嬉しけり

腕ずもう勝って嬉しや夢の中

此の夢に希望託して今日も生き

諦らめず勇んで待とう神の守護

▼茨木市・寺下宏一さん(鶴眞分教会長)よりの寄稿です。

吹く風に

一、人の世の暮らしの中の風の音

さむさにふるえ 耐えた日は

涙もかれた 日日でした

道の教えに 導びかれ

風のあらしは すぎゆきて

おだやかな今 ったえたい

二、見えない風の音寒く

なやみし昔 やまいありて

自分の心に 何かをもとめ

つとめ手振りに ひのきしん

風よ風よ 吹けよ今日も

三、熱い風の中 おぢばがえりに

共とすごした 教えの中に

皆んな仲良く たすけあい

土持の さわやかな風 ひのきしん

親えの孝心は 天えの孝心

さわやかな風吹いて 心すずやか



詩 かくしん

## 八月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護のまに／＼日々は結構に恙なく生活させて頂いております事は誠に有難く勿体ない極みでございます。しかしながら月日両神とお聞かせ頂く天然自然のお働きの現れである事を知らず「あたりまえ」との思いから「謙虚さと感謝の心」を忘れて我身勝手な心で生きる状を残念と思召され反省を促す上からか今年の夏は日本のみならず世界各地で猛暑と水害に苦しむ姿が多く見受けられ今なおその苦しみが続いておりますことは誠に申し訳ございません。早くからこの道にお引き寄せ頂いた私共は少しでもその理がわかり喜びと感謝の心を思い起こし陽気ぐらしへの第一歩を一人でも多くの人に歩み出して貰いたいものと日々は朝夕に御礼申し上げ自らの心の掃除をすると共に三つの実践項目等を通してにいがけ・おたすけの実動につとめ励まして頂いております。

その中にも今日の吉日は八月の月次祭を執り行う定めの日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同喜び心を一つに睦び合って明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます。御前には残暑厳しい中も厭わず寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し改めて御礼申し上げる状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

さて今年の子供おちば帰りは台風の影響でややさとパレード等一部の行事に支障がりましたが大きな事故怪我もなく仕込み伏せ込み行事お楽しみ行事と喜び一杯に参加させて頂き皆それぞれ心に陽気ぐらしの種をお土産として頂戴致しました。又引き続き高校生が学生生徒修養会に参加させて頂きました誠に有難うございました。この上は戴いた種が大きく芽生えるようお泊まり会や今後行われる英語講習会野外錬成会等を通して丹精させて頂く所存でございます。

更には又来月九月はにいがけ強調の月とお声を掛けて頂いております。そのお声に応えさせて頂くべく今月二十九日ににいがけ・おたすけ実修会要員研修会を開催させて頂き尚一層の勢いを心に植えつけてにいがけ強調月を足掛かりに教祖年祭に向けより勇んでたすけ一条の実動に邁進させて頂く覚悟でございます。

何卒親神様には年祭に向けての皆の勇み心をお受け取り下さいます。万たすけの上に更なる自由の御守護を賜り人々の心がおちばへと向き一列兄弟の理に目覚めて共に喜び合う年祭の姿になりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます。

## ・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆、②教会・布教所の独自の活動の紹介、  
③俳句・和歌・川柳、④教会行事開催後の報告記事 等々  
1000字前後(800字~1200字)

字 数

題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。  
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。  
郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377  
FAX：0865-66-1314  
尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



## ◆秋季大祭 おかえり講話

- 【日 時】 10月25日(月)午後7時より  
【会 場】 笠岡詰所北棟3階講堂  
【講 師】 伊藤正和先生(幅下部属 愛知旭)

## ◆秋季大祭 詰所受入ひのきしん

- 【期 間】 10月25日昼食～27日昼食まで  
【割 当】 各ブロックより1名

## ◆本部 青年会 総会

一年に一度、真柱様が青年会員に対し、我々の歩むべき道筋をお示し下さいます。暗中模索し混迷する時代、確かなる親の声に耳を傾け、一年の指針にしようではありませんか。

- 【式 典】 10月27日(水) 午前10時 本部中庭  
【前夜祭】 10月26日(火) 夕つとめ後 東西泉水プール前広場(笠岡分会出店予定)

## ◆おやさとふしん 青年会 ひのきしん隊

今年はひのきしん隊結成五十周年の節目の年です。

十一月隊は南右第二棟の瓦葺きに携わる予定です。我々青年会員は人様をひのきしん隊にお誘いし、共に入隊してそのお世話取りを通して教会に携わるものとしての資質を養おうではありませんか。

- 【期 間】 11月1日(月)～11月24日(水)  
【資 格】 16歳以上の男子  
【費 用】 各ブロックが負担します  
【申 込 み】 10月26日迄に大教会・淺野へ御連絡下さい。  
【内 容】 別席、基礎講座、伏せ込みひのきしん

## ◆婦人会 委員部長後継者講習会

- 【期 日】 11月23日(祝)

## ◆別席伏せ込みひのきしん団参

- 【期 日】 11月28日(日)  
【内 容】 別席、基礎講座、伏せ込みひのきしん

## ◆各行事に参加ご希望の方は、

各ブロックの担当者にお申し込みください

# 大教会だより

## ◎第七五八期修養科修了者

立教167年8月27日修了

笠岡谷本時治	高屋重政正男	神邊猪原崇史	芳井本名晴三	服部若井善仁	笠尋三嶋達也	米美宮本美奈子
--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

## ◎教会長資格検定講習会修了者

後期 立教167年8月19日終講

上小島 田中慎一郎

## ◎直属ひのきしん特別隊

自 立教167年8月6日

至 立教167年8月20日

亀田山 高橋祐吉



# 討報

## 池平定子姉

錦ヶ原分教会前会長

八月二十日出直されました。

享年 九十九才



昔から彼岸花が好きだ。

今を盛りと群れ咲く紅の花を見続けながら、何時しか、ハンドドルを握っているのを忘れる程、空想に耽った。

—— 田んぼの畦道は言うに及ばず、神社の石鳥居、古びた墓所、壊れた土塀——日本の原風景と言うか、彼岸花にはそういうものを彷彿とさせる、何かしらノスタルジックな雰囲気がある。

教典に「或る年の秋祭の日に、村の娘たちが、今日を晴れと着飾って、嬉々としているのに、娘盛のこかんは、晴着はおろか着更さえもなく、半分壊れた土塀のかけから、道行く渡御を眺めていた」とある。

こかん様の足下にも、きっと咲いていたに違いない……。

私の世代は、中学校に入ると、誰しもが華々しいウィンカーを装備したスポーツ自転車を買って貰ったが、小学校の卒業式の帰り途、母が言った。「お利口ちゃっけえ、新しい自転車は要らんなあ？」私は、思わず頷いた。自分ではよく覚えていないが、中学校入学当時の亡父の日記には、「何が気に入らないのか、帰宅すると直ぐ二階に上がって顔を見せない。」と。

牛乳配達の小父さんが乗るような頑丈な自転車を、役員先生が真緑に塗ってくださった。私は、中学校では「緑ちゃん」と呼ばれ、誰よりも早く登校するようになった。

壊れた土塀の下には色褪せた彼岸花が咲いている。その奥に顔を半分だけ覗かせて、道行く渡御を眺めている——我が娘の顔——を想像してみた……。

悲しい程ロマンチックな花だ。

